

日本赤十字看護学会第 21 回学術集会開催方法の変更についてのお知らせ

会員の皆様におかれましては、全国各地で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対応にご尽力されていることと思ひ、感謝とエールをおくりたいと存じます。また、この禍によりお亡くなりになりました方とご家族に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、療養中の方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、7月4日（土）・5日（日）に秋田市で開催予定の第21回日本赤十字看護学会学術集会は企画委員会が中心となり準備を重ねて参りました。学術集会企画委員会と日本赤十字看護学会理事会では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束を期待しつつ、経過をみてきましたが、5月10日（理事会開催日）の段階では、参加者の皆様の安全性を確保して現地開催するには厳しい状況であると判断しました。そこで、現地開催の代わりに、WEB配信と講演集による開催に変更することを理事会で決定しました。開催までの期間が長くないことから、WEB配信は講演の一部のみとし、口演、示説、交流集会は講演集による開催とさせていただきます。すべての発表をWEB配信するには時間的、予算的にも難しいことからどうかご理解賜りますようお願い申し上げます。詳細につきましては、第21回学術集会ホームページにてお知らせをさせていただきます。

日本赤十字看護学会の会員の多くの皆様には、COVID-19への対応の中、多大なご心配をおかけいたしました。多くの皆様が第21回日本赤十字看護学会学術集会にご参加くださいますようお願い申し上げます。

令和2年5月12日

日本赤十字看護学会 理事長 高田 早苗
第21回 学術集会 会長 安藤 広子